

LFJUKI-100 ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFJUKI-100

お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email sales@baxida-tech.com

ラベルフィーダー—JUKI 取扱説明書 USER INSTRUCTIONS ★ ラベルフィーダーの基本概念 ★ ラベルフィーダーの外観構造 ★ ラベルフィーダーの通料方法 ★ ラベルフィーダーの操作説明 ★ ラベルフィーダーのアフター保証

お客様各位：当社が開発・製造したラベルフィーダーをご購入いただき、ありがとうございます。本製品の使用方法をできるだけ早く習得していただくため、この取扱説明書を特別に作成いたしました。これから、当社のラベルフィーダー製品に関する重要な注意事項、外観の詳細、操作説明、保守・メンテナンス方法などを得ることができます。本製品をご使用になる前に、まずよくお読みいただくことをお勧めします。これにより、本製品をより良くご使用いただけます。本取扱説明書に記載されている情報が正確かつ信頼できるものであるよう最大限の努力をいたしますが、漏れがありましたらご指摘いただければ幸いです。感謝申し上げます。本製品は非標準のカスタム品でもあるため、お客様のご要望に応じて製品のハードウェアにいくつかの改良やアップグレードを加えることがあり、本取扱説明書の内容と実物に差異が生じる場合があります。実物を基準としてください。ただし、これにより本製品のご使用に実質的な影響はありません。ご了承くださいませ。ご協力ありがとうございます。本製品を正しく使用するため、この取扱説明書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。本製品は専門の技術者による修理が必要です。問題がある場合は、速やかに当社までご連絡ください。

重要注意事項

1、フィーダーを直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください； 2、本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があり、電力の大きい電気設備と同じ電源プラグに接続しないでください。 3、乾燥した/柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）でフィーダーを拭いてください； 4、剥離刃と受料プラットフォームに衝撃や汚れを与えないでください； 5、虫食いや鼠噛み、異物侵入などによる製品または部品（外壳、LED屏、インターフェース、元器件回路など）の破砕、錆び、損傷などを避けてください。 6、当社が認可した機関または人員以外による取り付け、修理、追加、または分解・組み立てを行わないでください； 7、衝突禁止。フィーダー同士の衝突や他の物体との衝突に注意してください。微細な損傷が発生し、機能および性能の低下を引き起こす可能性があります；



輸送及び受領確認

お客様が受け取る商品が完全であることを確保するため、商品受領時に運送業者と対面で開梱検収し、製品に輸送損傷や欠品がないことを確認してから署名してください。輸送損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。商品、商品包装材料及び付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社にご連絡ください。受領当日に需要者が受領製品に異議がない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

フィーダー概要

3.1 フィーダー適用範囲

3.1.1 紙製ラベルであれFPC補強鋼片であれ、各種マイラー粘着テープ、フォーム、防塵網、高温粘着テープなど、巻式物料はすべてラベルフィーダーを使用できます。 3.1.2 物料サイズの互換性が高く、1台のラベルフィーダーで最大サイズ以内のすべてのサイズの物料に対応でき、同時に単列または複数列をサポートし、機械の使用効率を最大限に実現します。 3.1.3 巻式フィーダーは主に包装、3C、FPC、電子業界に应用されています； 3.1.4 別途ラベリングマシンを購入する必要がなく、ラベルフィーダーとチップマウンターを組み合わせることで貼付作業を実現できます。（そのうちの1機種を例として紹介します。型番により一部構造が異なります。具体的には実物を基準としてください）

3.2 フィーダー外観構造

フィーダー通料テープ方法

4.1 フィーダー通料説明

4.1.1 料巻はラベル取り付け軸套から始まり、巻線軸を経由します。料巻の左右の振れを防ぐため、止め輪で料巻を位置決めする必要があります； 4.1.2 ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部の止めねじを緩め、料巻の幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動できます）を通し、押さえ板を通します（押さえ板の4本の止めねじを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調整できます）； 4.1.3 押料カバーレバーを下に押し、押料カバーを開け、料巻を押料カバーと駆動軸の間に挟み、押料カバーを押してラベルを締め付けます； 4.1.4 最後に、空料巻は廃料テープ回収軸套を通して回収されます。

4.2 フィーダー通料概略図

4.3 通料注意事項：

4.3.1 料帯の角度方向はまっすぐに保つ必要があります； 4.3.2 大きなラベルや剥離しやすいラベルは、パネ巻線軸を経由しなくてもよい場合があります。角度が大きいとラベルが早期に剥離するのを防ぎます； 4.3.3 剥離しにくい小さなラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度のより小さい面に換えて使用できます。

フィーダー光ファイバーセンサー操作説明

5.1 光ファイバーセンサー外観

- ①ラベルが光ファイバーポイント上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する検出値を生成します。
- ②光ファイバー動作設定値 > 光ファイバー検出値で且つランプ点灯時、物料ありを検出；光ファイバー動作設定値 < 光ファイバー検出値、物料なし状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は物料なし状態より200大きくすればよいです。

光ファイバーセンサー 動作設定値 光ファイバー検出値

5.2 ボタン説明

光ファイバー動作設定値を大きくします。光ファイバー動作設定値を小さくします。

5.3 使用説明

フィーダー表示画面操作説明

6.1 表示画面使用説明

6.1.1 動作モード 自動：生産モード；手動：生産停止、上料・換料に使用； 6.1.2 供料位置：供料距離を調節し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調節します。（ラベルが上に反ったり送りすぎたりする場合、供料位置が大きすぎます。ラベルが所定位置に送られない場合、供料位置を増やせます）； 6.1.3 供料速度：ラベル剥離が完了している場合、速度を上げるか下げるかに応じて、供料位置を相応に微調整する必要があります。貼片速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供料の安定性を保ちます； 6.1.4 供料遅延：1つの料を送り終えてからしばらくして次の料を送るまでの時間。単位は0.1s（マニピュレータの取り出しが遅く、ラベル送り速度が速い場合、遅延を設定できます）； 6.1.5 生産数量：ラベルを1列送り出すごとのカウント。長押しでゼロにリセットして再カウントできます。

：手動モードで、ラベルを1回送ります；手動モードで、料巻が少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供料位置の数値が自動的に減少します。：手動モードで、料巻が少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供料位置の数値が自動的に増加します。：パラメータ設定、中国語/英語形式の設定が可能、チップマウンターとの通信信号を設定できます（信号線の接続が必要）。

アフター保証条例

製品の保証期間はご購入日から起算し、保証期間は1年間です。保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供いたします。以下の場合、無償修理は提供いたしません： 一、製品または部品が相当する保証期間を超えている場合； 二、誤ったまたは不適切な使用、保守または保管による故障または損傷。例：不適当な運搬；製品の合理的な予期される用途に従わない使用；外部接続機器の不適当な抜き差し；落下または不適当な外力による衝撃・圧迫； 三、不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ、水浸または湿気環境への接触または暴露；または異物侵入による製品または部品の破碎、錆び、損傷など 四、当社が認可した機関または人員以外による取り付け、修理、変更、追加または分解・組み立てによる故障または損傷； 五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。保証期間満了後および無償保証条例に含まれない設備についても、お客様は引き続き当社の修理サービスを受けることができますが、部品代及び修理費用を状況に応じて申し受けます。製品出荷前に、お客様から提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整いたします。通常、製品受領後に電源を接続すれば使用できます。操作方法が不明な場合は、当社技術者によるオンラインリモート操作指導を行います。部品交換が必要な場合は、製品を物流で返送していただく必要があります。

私たちの使命 電子業界の自動化分野において以下を解決することに注力しています： 製品の研究開発過程における「革新追求」の技術問題； 製品の工業生産における「安定動作」の技術問題； 製品の製造過程における「持続的品質」の管理問題； 製品の使用過程における「効率的で責任ある」サービス問題； お客様製品の「総合コスト」を持続的に低減する市場問題。